新京日日新聞
夕刊　四月廿二日(日)
發行所　新京日日新聞社
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　谷啓二郎

私的會商の形式で北鐵交涉愈よ再開
外相の斡旋奏効し廿三日から
解決後委員會設置

（東京國通）北鐵交涉は廣田外相の斡旋で廿三日より大橋次長、カズロフスキー氏の私的會商の形式で再開される事となつたが、滿洲國側の讓渡案は廣田外相の支持に依る公正な案故最後的解決に達するものと期待される、尚右解決後日、ソ、滿の關係確保に三國共同委員會の常設を提唱するの用意を示し居る

最終的解決近きか？

（東京國通）北鐵讓渡交涉はソ聯側に支障ない限り滿洲國代表大橋忠一氏とソ聯代表カズロフスキーの兩氏間に二十三日午前十時から私的會商の形式で再開される筈であるが今回の交涉再開の基礎となる滿洲國提出の讓渡案は廣田外相の公正なる指示に基き北鐵の現實的評價を中心とせる極めて妥當な具体案と觀られて居るので交涉再開後ソ聯側に交涉締結の意志ある限りこれを以て將來の日、ソ、滿三國の親善平和關係を確立する重大楔機とし日本は引續き急速な恐らくは一ケ月を出でずに讓渡問題は最終的解決に到達すると期待され居り然して交涉成立後は三國共同委員會常設等の相互間の平和的措置を提唱する用意を示して居るので北鐵交涉再開と共に日、ソ、滿三國間の平和的機運は急速に增進すると觀られて居る

廣田外相とユ大使會見內容大綱

（東京國通）廣田外相とユレニエフ大使との會見に於て廣田外相は
一、北鐵問題の解決は日滿ソ聯の親善關係を確立するものでありソヴイエートでも東亞平和のため充分考慮を乞ふ
一、最近滿洲國で北鐵讓渡の成案を得たが右はソヴイエートの先に出した北鐵貸借對照表等を基礎として居りソヴイエートの主張を斟酌し居ると認められる、滿洲國は右案により廿三日午前十時よりソヴイエートと讓渡交涉再開の意向だ
一、本大臣は斡旋者とし右案により交涉再開を切望すると述べて滿洲國案の大綱を內示した、これに對しユレニエフ大使は再開に異議ないが交涉日時は相談の上回答すると交涉再開を正式受諾した
廣田外相は更に北洋漁業問題に轉し一月二十日の競賣の結果を是正するやう要望し至急善處するやう重ねて本國政府に斡旋されたいと述べてユレニエフ大使もこれを受諾し會見圓滿に午後一時三十分過ぎ終つた

孟家屯驛々手
同　金子文藏
南新京驛々手
同　平野秀雄
同　山下克巳
新京驛々手を命ず（各通）

對スエーデンマッチ協定拒絕か

（東京國通）商工省ではスエーデン、マッチ、トラスト代表のマッチ販路協定提議に對し製造業者や輸出業者の意向を聞いたが製造業者はスエーデン側が理不盡な要求をせねば輸出數量を安定させる上に反對せずとの態度を有してゐるが輸出業者は市場別に取扱ひ方法を異にする他世界市場に單一の輸出組合が結成されず工業組合の生產統制か薄弱な際實現困難との意見なので吉野次官は近く代表者カーター氏を招き拒絕する筈である、スエーデン案はペルシヤ、エチオピア、フランス等マッチを政府の專賣とする國を除き廣範圍である

漁區問題が先決問題と
廣田外相ユ大使へ逆襲

（東京國通）廿一日の廣田外相とユレニエフ大使の會見に於てユレニエフ大使は漁業問題に關し曩にソ聯側よりルーブル換算率問題商議の解決方を提議し來たつたが、之に對する日本政府の回答は如何と質したが廣田外相は同問題に關しては目下農林省、當業者間で協議中にて未だ回答の時機に至らぬが元來ルーブル交涉問題と漁區問題は別個のものでソ聯側がルーブル問題を喧しく主張する以上は我として也對抗的に一月廿日の入札に於けるソ聯側の條約違反行爲を公式に[illegible]せず[illegible]居られぬ、斯く[illegible]到底[illegible]の圓滿なる解[illegible]を期し得ず、依つて先づソ側で入札問題の善處方を計られたいと逆襲的回答をして考慮を促がしユレニエフ大使も廣田外相の意の有る所を諒とし本國政府へ適宜傳達方を約した

滿鐵辭令

耿火信號場驛務方
雇員　高根金三郎
新京驛々務を命ず
准傭　大澤一延
甲種傭員を命ず
新京檢車區車手を命ず
新京驛機關區警手
甲傭　江原龍一
調度方を命ず
耿火信號場驛手
甲傭　森衆芳

米國陸軍が四萬八千增員
これで米陸軍十八萬人に

（ワシントン廿日發國通）二十日下院に於て參謀總長マックアーサー大將は下院陸軍分科委員會に於て目下審議中の現役兵員四萬八千人增加案を無條件に承認して次の如く說明を與へた
予は本計畫により米國陸軍の最も恐るべき重大なる缺陷の一つを矯正し以て米國の安全を增大しその陸軍を危險線上に引上げ更に不況の下に苦境に立つ青年に就職の機會を與へんとするものである、此の結果現在本數の兵十一萬九千名は十六萬五千名に、士官一萬二千名は一萬四千六十三名に夫々增員され合計現役兵員四萬八千の增加を見ることゝなる

瀋陽縣の紛爭
鮮農水田經營中止

（奉天國通）既報瀋陽縣に於ける鮮滿人の確執は鮮農の灌水路無斷掘込みより端を發したもので當局は國內問題として其の成行を考慮し奉天總領事館、縣公署、憲兵隊より現場に調查員を派遣し調查をなさしめたが一行は二十一日朝歸奉した、右事件に對する當局の斡旋も奏效せず結局現地交涉の結果居住鮮人は次の如き理由により水田經營を中止し引揚げることになつた、即ち鮮農の土地商租は滿人が承認せず然も同地は水利不足で何れかより灌水せねば水田經營不可能である

民政部で社會事業聯合會

民政部社會科では新年度豫算其他今後の事業に關し五月末大連に於て開かれる日滿社會事業大會の準備會を兼ね五月十五日新京に中央社會事業聯合會を開催することに決定、關係方面との折衝を開始した

奉天・新京
中谷時計店

領事館開設に外務省承認
大阪大連に本年秋頃實現か
日滿通商圓滑の爲

日滿兩國の通商關係を圓滑ならしめ經濟ブロック結成への一步を進める爲滿洲國に於ては日本主要各地に領事館設置計畫を樹て日本外務當局と折衝中であつたが、日本外務省では差當り大連、大阪兩地の開設を承認した旨通報あり、右に關し滿洲國外交部當局の方針を問へば次の如く語る
日本側より未だ正式の回答には接してゐないが兩國の通商を發展させ且在外居留民の利益を向上させる上から云つて我國領事館の設置は必要だ、然し豫算その他の關係もあつて急速な實現は困難であるが日本外務省が大連、大阪兩地に承認を與へたとすれば現在大連は旅券查證所に於て仕事をやつて居るから差當り大阪に設置されるのが順當であらう、實現の期は豫算關係もあり見當がつかぬが多分本年秋ではあるまいか

二月末國庫現計

（東京國通）大藏省調查二月末國庫現計左の如し（單位千圓）
△歲入
經常部臨時部合計　一、六一〇、九五五
△歲出
經常部臨時部合計　一、六五四、五四一
歲入增加は經常部の增稅、官業收入、印紙收入の財界好轉による自然增收に基くもので臨時部では赤字公債の增發による、特に租稅の地租、相續稅、砂糖消費稅、兌換銀行券發行稅を除く增收に依り財界好轉を期待せしめ增稅計畫の指標とされてゐる

ソ聯邦がまたもや橫車を押す
日本のボグラ驛內使用を拒絕

（ハルビン國通）日本側はボグラ驛の荷物の積下しのため昨日北鐵に驛構內一部の使用方を申込んだが副理事長バンドーラはボグラ驛の封鎖を解除せねば應ぜられぬと難題を持出し紛糾が豫想されてゐる

全國參謀長會議第一日

（東京國通）全國各軍師團參謀長會議第一日目は廿一日午前八時半參謀本部で開會され、閑院總長宮、植田參謀次長以下各參謀長出席し、閑院總長宮殿下より統帥全般の訓示があり次で植田次長、橋本部長より一場の講演あり同十一時散會した
尚一同は午後一時半宮中に參內、陛下に拜謁同二時退下した

內地からの自由移民問合せに
軍部其他各機關の意向

（ハルビン國通）最近日本各地から當地各機關に自由移民の問合せが頻々として寄せられ、當地各機關では軍部、拓務省、滿洲國側と折衝し善後處置を考究中であるが自由移民に對する各機關軍部の意向は大体左の如くである
一、全滿の治安大体回復したとは云へ未だ各處に小匪出沒の危險が伴ひ、又拓務省の武裝移民と異り自由移民は体軀及び經營等につき何等の訓練無きため面白からぬ結果を招來する虞れあること
一、若し移住斡旋をなしても山間僻地に永住し滿洲の土と化す決心があるか無いか
一、自由移民團は政府の補助なきため衛生、教育等に多大の支障を來す
一、武裝移民より以上に脫退率多きこと

遞信局異動

（大連國通）關東廳遞信局では武林大連西廣場郵便局長の退官に伴ふ後任補充並電信電話監督駐在員異動を左の通り發表した
任關東廳遞信副事務官、敍高等官六等　大連西廣場局長　遞信書記　武林勉
大連西廣場郵便局臨時在勤を命ず
大連中央局小包郵便課長　遞信書記　遠藤源四郎
補大連西廣場郵便局長
遞信局經理課規畫係主任　遞信書記　老田弘良
大連中央郵便局小包郵便課長を命ず
監督課勤務　遞信書記　山野本[illegible]
新京駐在を命ず
監督課、新京駐在　遞信書記　山崎光太郎
奉天駐在を命ず
監督課、奉天駐在　遞信書記　廣瀨圭造
監督課勤務を命ず
（以上四月二十日附）
關東廳屬兼關東廳遞信副事務官　武林勉
依願免本官並兼官
（四月二十一日附）

新京商第十一期生修學旅行記
第三信

到着したのは九日夜七時過ぎであつた、こゝでも京都と同じく高野山參拜の諸地方團体と合致して、小さな舊都は困雜を極めた、嘗ては七代七十三年の帝都とし咲く花の匂ふが如しと歌はれ、一木一草に至るまで古人の眼を止めた當市も年移るに及び今は只死の町とし遺跡の存在によつて僅かにその呼吸を續けてゐる有樣であるそれ故に經濟的方面の觀察は全然なかつた、十日午後列車にて畝傍に參り皇祖神武天皇を御祀りした橿原神宮に詣づ、一面に敷きつめた砂利を踏み神前にぬかづいた時我々はその莊嚴さに打たれたのでした、朝よりの快晴も漸く花曇りとなり池畔の櫻花も爛漫として咲き亂れさながら人の心を醉はしめる樣に思はれました、同日大軌電車で宇治山田市にゆき、翌三十一日伊勢神宮に參拜致しましたが、五十鈴川の流水に身を淸め古木鬱蒼たる中を縫ふが如く神殿に近づけば襟自から正しくなりその森嚴さは到底筆舌につくす所では御ざいません、同日午後名古屋に向けて出發同市に少時間、步を休め午後八時二十分母校舊職員木村先生に見送られながら、名古屋城下を後に憧れの帝都へ向けて出發致しました
○
見聞してゐた東京それは總てのものがたゞ憧れの一字をもつて待望してゐたものでありました十一日午前六時府立第三商業、並に府立第一商業の方々に出迎へられて東京入をする驛頭に並ぶ大廈高樓のみを見てもその偉大さの大半を知る事が出來ました、その日遊覽バスにて始め大內山を拜して天壤無窮をお祈りし明治神宮乃木邸跡震災記念堂等各名所を歷訪致しました明治天皇の御遺德を永へにお慕ひ奉らんとする力强い國民の熱誠により建立せられた森嚴そのまゝの明治神宮、忠勇義烈の四十七士をお祭りした泉岳寺、御質素な乃木邸、白壁にかけられた圖によつて大正十二年の關東大震災當時の有樣が知れる被服廠跡等最も我々の心を引きとめたものでした翌十三日午後五時偕行社にて前關東軍司令官本庄閣下より有意義なお話を承け給りました十四日午前七時東京府立第一商業、第三商業並に京橋商業の方々の見送をうけ我々の列車は晝の東海道を西へ向つて出發しました、これより箱根大阪と各所を見學して、夫々歸途につく豫定であります

沖、橫川兩志士命日祭

（ハルビン國通）橫川、沖兩志士の命日祭は雨模樣にも拘らず在哈日滿要人團體、小學校生徒等多數の參列者あり盛大を極め正午式を終つた

義倉復活で調查員を現地へ派遣

民政部地方司社會科では建國以來沒却されてゐた義倉を復活することになり最近各縣に調查員を派遣し管理狀況を調查中であるが、右義倉は民國十八年七月中國政府が義倉管理規則を設け富裕階級より租稅として穀物を徵收し天災又は飢饉に際し貧民を救濟すべく各縣に設立されたのであるが、爾來貪官汚吏のため悪用され殆ど有名無實となり、尚建國後も義倉財產は縣の財政に充てられ往々芳しからぬ結果を生じてゐた爲めこれが管理方法を改正し直接中央に於て一括管理することになつたものである

四平街
新開街の火事

（四平街支局發）二十一日午後一時十五分頃市內新開街二十四番地ノ四滿人李和春方溫突の煙突から火を吐いて折柄の南の烈風に煽られて正に大事に至らんとする折通懸りの者の急報に滿鐵消防隊時を移さず出動直ちに消止めたが損害は至つて輕微であつたが附近には邦人住宅者軒を連ね居る場所柄と恰かも南の大風とて一時は仲々大騷ぎであつた

兩署員着任

（四平街支局發）二十日午後零時五十分着第二十二列車で當署勤務を命ぜられた原巡查部長澤宣勝、執行易一の兩氏は着任した

白柳憲兵上等兵着任

（四平街支局發）要員不足の當憲兵分遣隊へは十九日午後五時四十二分着列車で熱河凌源から上等兵白柳信次氏着任した

大通の改築着々進む

（四平街支局發）四平街市建設過渡時代の土屋根家屋は漸次形を更へ主要道路に面する個所は舊態の儘のものは指折り數へられる樣になつて來た本年改築のもので地方事務所に屆出て居るものは十八件ある中には中央通の一角に城壁を圍らし市街美と發展上の癌を爲して居る天益亨の數千坪の一廓も加つて居ることとて第二の鄉土を愛するの人士は等しく當事者の英斷に對し滿腔の讚辭をあびせて居る

住宅難も秋までには緩和

（四平街支局發）澎湃躍進の一路を辿つて行く我が四平街市は今や漸く住宅受難の期に會して居るが一般本年增改築の家屋と新規土地借受者の新築家屋とで初秋頃には大に緩和を來すであらうとみられて居るが二十日現在地方事務所土地係の受付濟となつて居る新規土地借受申込件數は市內消防隊附近宅地十件鐵東市街宅地十件位で申込〆切期日が定めてなく隨時借受希望者は申込み得ることとて建築可能期間中には尚ほ可成りの件數に達すだらうと

人事往來

▲後宮少將（關東軍司令部附）二十一日午後四時三十分發奉天へ
▲八田嘉明氏（滿鐵副總裁）同上大連へ
▲木島一等軍醫正（奉天衛戍病院長）同上奉天へ
▲劉紹衣氏（吉林稅務監督署長）二十一日午後十時發奉天へ
▲多田少將（軍政部顧問）二十二日午前七時着奉天へ
▲坪井善雄氏（豫備陸軍少將）二十二日午前八時三十分發哈市へ
▲田中トム子氏（故田中典氏未亡人）二十二日午前九時發內地へ

團体

▲北滿訪日文化團十八名二十七日午前六時來京同日午前八時三十分發哈市へ
▲香川師範學生六十五名二十八日午前六時來京富士屋旅館へ投宿二十九日午前十一時三十分發奉天へ
▲宮崎縣延岡中學生五十五名二十八日午後一時五十五分來京

日本一の「吉備團子」を背負ひ優しい慰問の旅
岡山國防婦人會林原さん

岡山國防婦人會清輝分會幹事林原松代さん（四〇）は娘の山陽高等女學校四年生滿與子さん（一八）と妹の同御野分會幹事鶴見壽江さん（三六）を伴つて可弱い女性の身でありながら在滿各地の皇軍及び鄉土部隊の慰問を思ひたちかねて計畫中だつたが今回岡山聯隊區司令部よりの紹介狀を得、十五日午後十時七分岡山驛發下り列車で壯途についた、國防婦人會清輝分會及び御野分會では林原さんら一行の壯途を後援する意味で鄉土部隊に吉備團子を託して鄉土軍勇士に懷しい鄉土の香を嗅がせやうといふ吉備團子を背負つて滿洲行の女性とは軍國の香に適しいトピックではある、尚、一行の行程は約廿日間で近く新京衛戍病院を訪問戰傷病者を慰問する傍ら近く內地に凱旋する鄉土部隊を訪れて例の吉備團子で勇士を慰めると

日滿戀曲　生命線を行く　（百五十）
（禁上演上映）　國友雄吉　（荒川芳三郎畫）

忘れてゐた男

「今晩は——」といつて、勝代は闇の際で膝を落して、藝者らしく挨拶した。
が、どんな人が、邦彥の同伴なのか、その方には、格別注意もしなかつた。
橋本の方では、もうさつきから、眞劍になつて瞬きもせず見つめて居る。
葭町で藝者に出てゐる筈だが、まだ一度も會ふ機會がなかつた。どうかして會ひたいものだと、時々は思つてゐた。その勝代が、思ひ掛けなく眼前にヒヨツコリ現はれたのである。
橋本に取つては、まつたく不思議であつた。
だが、勝代の方は、まだ、それと氣がついてゐなかつた。それは橋本なんて男は、全然もう、彼女の記憶から拭殺されてゐたからである。
ところが橋本にしてみると、いまにキツト思ひ出して、さぞ吃驚するだらうと、ワク〳〵し乍ら待ち構へたが、彼の見込みは、全くはづれて、勝代の口からは「アラ」とも「オヤ」とも、驚きの聲の、漏れて來さうな氣配もなかつた。
そのくせ、全然橋本を見ないのではない二度も三度も、彼女の視線が、橋本の顏を掠めて居るのだ。
それで居ながら、知らぬ顏をして居るところを見ると、「まつたく忘れられて居るのか——？」と、橋本は拍子拔けがして、少々心細くなつて來た。
ところが、例の負け惜みの強い男のことだから、その時、不圖こんなことを考へた。
「待てよ。ヒヨツトしたら此女は、もう邦彥の持ち物になつて居るのかも知れないぞ。それで、わざと知らぬ風をして、邦彥の手前を繕つて居るのだらうか」
彼は、チヨツト拗けて來た。拗けると同時に、
「なあに、構ふものか。それなら一つ、驚がらせてやれ」
さう思つたので、
「オイ、勝美ちやん、久し振だねえ」と、彼の方から口を切つた。
突然、自分の本名を呼ばれたので、勝代をハツとさせた。そして初めて、特別の注意をこめて橋本の方をチツト見た。
橋本は、ニヤ〳〵と、例の薄氣味惡い笑ひを浮べてゐる。
「もう忘れてしまつたのかね。僕だよ。ソレ、チチハルの君の家でも、會つたことがあるだらう。それから、日本へ來る船の中でも——僕は、橋本だよ」
「マア、橋本さん！」
勝代は、ほんとうに驚いたのである。實際それで初めて、「あの人だつた」と思ひ出したのだ。
實は、おぼろ氣に「何處かで見たことのある人」ぐらゐの記憶はあつたが、あの頃に比べると、顏の剃りやうも、服裝などもガラリと變つて居たので、スツカリ見違へてゐたのである。
「あたし、どうして、こんなに忘れツぽいでせう。すつかり、お見それして——」
それでも勝代はにこやかに會釋をした。それは彼女として、只、通り一遍の、愛嬌を振り蒔いたに過ぎなかつた。
それでも橋本は、嬉しかつた。
でも、直ぐに、勝代の胸に感じたのは「あゝ厭な人に會つたもんだ」といふ不快な氣持であつた。
「君の健康を祝して、一つ頂戴しやう」
橋本は杯を差し出した。
勝代は酌をした。
彼女の橋本に對する不快の氣持は、半歲前でも、今でも、ちつと變りはなかつた。
「なんだい。君たち、お互に知つてゐたのかい」
邦彥も驚きながら、笑つてゐる。
「滿洲以來の馴染でネ」
と、何心なく言つたが、不圖橋本の胸に浮んだのは、健一のことであつた。
「この女は、健一を知つて居るのだ——」
さふ思つたら、何ともいへない不安な氣持が、急に體をゾツとさせた。

天長節祝賀會廣告
一、日時　四月二十九日午前十一時
一、場所　新京西廣場小學校講堂
一、會費　金五十錢（會券ト引換ニ申受ク）
一、主催　新京總領事館、新京地方事務所、滿洲國側、國務院總務廳秘書處總務科
一、申込場所（會券引換所）軍部關係、軍司令部副官部（會券引換所）地方側、新京地方事務所庶務係（會券引換所）各區長（會券引換所）
一、申込期限　四月廿七日午後四時迄

味覺自慢のおでんと小料理
田吾作
朝日通八七　深井病院裏

女中數名急募

採用
簿記に經驗ある者一名
至急採用市內に確實なる保證人二名を要す希望者は履歷書持參本人來談のこと
食料雜貨　三浦洋行
ダイヤ街永樂町一ノ八　電（三）二五六七、三〇〇四番

東京製人形の粋!!
五月節句の武者人形賣出
店內の陳列を是非御覽下さい!!
電二一五八番
和洋百貨店　平本洋行　新京日本橋通

賣家
木造二階建新築料理店下宿向
建坪三十八坪五合
現在家賃百八十五圓上り
大經路三十九號　伊東吉藏

女給募集（十五名至急募集）
一、年齡十六歲より廿五歲まで美貌の方を望む
一、勤務は公主嶺國際會館カフェー部
希望の方は四月二十一日より四月二十八日までの間左記へ本人御來談のこと
依託募集所　新京日本橋通大同理髮館
＝五月一日開業＝
公主嶺國際會館

運命鑑定
卅年間の經歷を有し日本一の稱ある不思議の豫言
觀相大家

泰幹先生
●日延廿三日迄●
新京三笠町演藝館前　常盤旅館
運命鑑定

春と共に押寄せた 學童の大洪水
僅か半月に轉入二三七名で 六學級を增加申請

滿洲にも朗かな春の訪づれとゝもに轉入學童の激增は[illegible]中途入學二百三十七名[illegible]二十四名、差引二百十[illegible]增加である、なほ現在[illegible]二十七學級であるが、[illegible]後どれほど增加するか[illegible]り知れない現狀で、地[illegible]所では取敢えず各學年[illegible]、都合六學級の學級[illegible]目下本社に申請中で、[illegible]れでも充分といふわけ[illegible]り結局第三校が來る九[illegible]までには七、八學級の[illegible]見ねばなるまいと當局[illegible]つてゐる

[illegible]きしてゐるのは見る目にも淚をそゝられた

航空會社の自動車と リヤカー激突

二十二日午前八時三十分ごろ市內羽衣町と西二條交叉點で航空會社乘用自動車(運轉手松崎二郎(二五)と、老松町二丁目天野商店リヤカー稻井久雄(二〇)とが激突し、リヤカーは一大音響とゝもに顚覆し稻井はリヤカーの下敷となり右足を骨折し直に滿鐵病院に收容した

居留民會評議委員 けふ第一回民選

日曜と天候に惠まれた新京居留民會評議員の第一回民選投票は[illegible]今年の有權者は二百四十名で[illegible]時までに早くも八十九票が濟んだ、寬城子、南[illegible]の有權者も相當あるが[illegible]面の者は午後になつてそろそろ投票に來ることから、百二十票位の

＝投票＝はあるものと見られてゐる、選[illegible]所では八十票も投票者は上出來だといつてゐ[illegible]案外に棄權者の少ない[illegible]員は喜んでゐる、なほ[illegible]時締切と同時に開票さ[illegible]官選七名は多分二[illegible]領事館で行はれる

菱刈大將の筆で 「新京神社」社標
石鳥居は中央ホテル主人寄附

新京神社では[illegible]約二時間乘り廻つた、[illegible]正午から大同學院の食[illegible]をとつて懇談會を開[illegible]

故田中典氏 遺骨還る

三月十五日逝去した[illegible]

遠乘會 勇士の面々

既報、新京地方事務所社會係主催の[illegible]

武勳に輝く 十四師團凱旋豫定

(東京國通) 陸軍省發表、第十四師團は左の日程で內地へ凱旋する豫定

第一次輸送 五月二日より六日迄 中牟田部隊長及常永、中山部隊主力

第二次輸送 五月廿一日より廿四日迄 畑木部隊師團殘餘

新京の 綠を愛せよ(下)
街路樹を愛護しよう
西公園事務所 吉田倉藏

○

私は左に二三の實話を挿入したい。

西公園事務所の手で新京市街附屬地の街路樹は管理されてゐるのであるが或年の春某學校の前に街路樹を植えたところが一年ならずして某學校前のみ皮肉にも石パーセントは枯死或は刀狀のものにて損傷を蒙り活着の步合が惡かつた公園ではさては害虫の襲來であらうと急遽殺虫劑を造つて噴霧器等を用意して該驅除もして見たが一向に好果がない、こはいぶかしやと仔細に實狀を檢査するに及んで係の者はアット開口一番したのである、害虫は葉にあらず枝にあらず實に街路樹の幹を目してゐる而かもその啄蝕したりと覺しき個所は總てが銳利なる刀劍狀のものにより無慙に樹皮を削剝せられてゐたその害虫は某學校の生徒たることが判明したのであつた、

○

日獨戰爭で日本軍が靑島を占領して威武堂々と入城式をした時我が將卒は翠綠滿るが如き靑島市街の街路樹に齊しく驚愕と賞讃の眼をみはつたと云ふ。

「文明人は正に斯の如きか」と爾來續々移住する我が同胞に對して獨逸人に倣ふべく軍部は街路樹愛護の命令を發した軍令よく徹底して在留邦人たちは街路樹の一小枝にも指を觸れずひたすら愛護につとめた、一年後當時敗戰歸國の一獨逸將校が再び靑島を訪れたとき昔に變らぬ水々しい街路樹の姿を見て「流石日本人は神國人なり」と激賞したと云ふ講話條約の結果靑島が中華民國に還附された後三度靑島に右の獨逸將校が訪れた時街路樹はいたましい迄に傷つけられ枝も葉ももがれた丸坊主の枯木さへあつたと云ふ

○

これは滿鐵沿線の某小學校の話 大正天皇御卽位御大典の紀念事業として校庭に職員生徒擧つて嚴肅な式の下に植樹を行つた。樹は師徒協力の愛護を受けて他校の羨望の的となるほど立派な學校林となつた、或年こゝに築山が設けられた時、紀念林は片つ端からゴシゴシと惜氣もなく切り倒された。そして薪として燃燒すべく學校の先生達に分配された。君が代の千代の榮えと共に繁れ榮えよと植樹された御大典紀念林はかくも無慙な最後を遂げたのである。これを目擊した生徒達の心に如何なるものが刻まれたであらう。

『成長や建設には年數がかゝるが破壞は一瞬である』

○

街路の延長は常に市街の發展に正比例する 急速な發展を示す新興都市ほど街路は無限に延びる。首都新京に於て特にこの現象は著しい。限りある公園管理人の手を以て限りなく延びて行く街路に對してなる注意愛護と云ふことは植樹たけでも相當至難なことであるに更に其の後の充分は云ひ易くして事實上出來ない相談である

○

然も街路樹の負はせられて居る使命たるや誠に大きい。市街の裝飾、溫度の調節、空氣の淨化、防暑、防塵等々と美觀と衞生との兩方面に貢獻することを强要されつゝ惠まれるところは前述の如く乏しい。百何等の惠まるるところもなく只虐待のみと云つてもよい奉仕に酬ゆるに虐待何と云ふ不合理千萬なことであらう街路樹こそは第一戰線に立つ勇士にも等しいのに。

○

都會を一戶の大きい家屋と見る時街路はその廊下であり市民各自の家はそれぞれの部屋である。公園を大廣間の窓と見る時街路樹は各自の部屋の窓である、健康の母である日光淸風はこの窓から常に訪れる、市民と云ふ家族は不斷に我が家の掃除を怠つてはならぬ卽ち市街淨化を怠つてはならぬそしてこの街路樹愛護こそ市街淨化の實行事項として先づ第一に指を屈すべきものであらう。

○

火の元用心や公共衞生の注意がいづれも市民公德であると同樣街路樹愛護も亦大なる市民道德である。

○

綠色は希望、豐富、旺盛、永遠のシムボルだと云ふ、永遠に希望を失はない民族、豐富にして旺盛なる永遠の生命を保持する光榮ある日本民族の一人として新興滿洲國首都新京の市民の一人として御互に綠を愛しよう街路樹の綠を愛そうではありませんか(をはり)

滿洲國辨理士會 評議員會協議

滿洲國辨理士會では二十一日午後三時から扇芳グリルで評議員會を開催各評議員出席のうへ、大原萬千百氏を座長に推し內地辨理士會との連絡その他今後同會の執るべき方針につき協議し一同夕食を共にして同七時散會した

氣溫が下つて 郊外への出足にぶる
さすがに競馬場へは人の波

空模樣はと待望と不安に訪れた今日は日曜である、黃塵の狂亂にあけた空はカラッと澄みなく晴れてゐる西公園、ひさご池の水面は濁りに淀んでゐるが

＝滿々＝と水をたゝえて柳梢のボーツとかすむ薄黃色の若芽を芝生に潑剌ともえ出た若草の影をうつして靜かな小波にゆれてゐる本格的な春はこゝ水面に全ぼうを現はしている午前八時半入待ち顏の公園の朝はまだ早いようだグッと下つた氣溫に人足が遲い、木の間の人影は至極まばらである、殺風景な滿人の一かたまりが猿小屋の周圍をとりまいて嬉々とし戲れてはゐるが、彼氏と彼女のもつれてはとけとけてはもつれて行く靑春譜の影像も更に見受けられない、常の日でも一日入園者四、五千を下らぬといふ昨今においては淸澄に明けた日曜のこの日を公園の芝生に、ベンチに、また木の間に、グランドに求めてなだれこむ入園者の人足も午後にまわされて行くであらう然し早朝から活動を開始してゐる競馬場行きバスは出發每に身動きもならぬ

＝滿員＝である、西公園の人出も或は第二日を迎へた人氣百パーセントのこの大競馬場に奪はれるのではなからうか、ともあれ晴れやかな今日の日はすべて郊外へ郊外へ………

好晴と日曜に
人氣湧く春競馬第二日 場內人山を築く

新京賽馬俱樂部主催の春季競馬大會第二日目(二十二日)は前日に引かへ朝來絕好の競馬日和に惠まれたのと、日曜日のことゝて定刻既に觀衆は殺到し、場內は人山を築き非常な盛會で馬券は第一競馬から飛ぶ樣に賣れ人氣は沸騰した

奉天競馬は 來月十一日から

滿洲國營奉天競馬は來る五月十一日より三日間中一日休んで十五日から三日間と春季第一次競馬を

＝催す＝事になつた、北陵の競馬場の諸設備は五月中に完成する事になつて居り日をふるに隨ひ全滿に於ては哈爾賓の國營競馬場と共に雙璧と呼ぶ事の出來る立派な設備になろうとしてゐる、奉天隨一の行樂地たる北陵は既に常綠の亭々たる松樹に色とりどりの草花が咲き亂れてゐるが廣々とした馬場とのコンビは遊客に滿足を與へるに充分である、滿洲國營競馬は今回出馬登錄を去る四月廿日に締切つたのであるが今回も昨年秋の第一回におとらず當地は云ふに及ばず大連安東の各地より申込殺到して出馬登錄馬は二百八十五頭に達し今より開催日の盛況が思ひしられる、因に償金はレース平均參百參拾圓、賞金總額は二萬五千圓で競馬回數は一日十二レースである揺彩票(スイープ卽ちガラ)も各レース每に發賣する

＝最後＝に揺彩票の當籤數は出走馬四匹以下の時各一匹に付き四個五匹以上の時三個、八匹以上十五匹以下の時二個、十六匹以上の時一個と夫々決定される

胴と首の離れた 死体發見

二十一日午前九時十五分ごろ鐵路總局新京警備の河合幸一(二五)氏は輕油動車で東站から新京へ向ふ途中伊通河橋梁を通過して間もなく線路盛り土の根本に滿人苦力樣の胴と首が離ればなれになつた怪死體のころがつてゐるのを車窓から發見した、胴、首は四、五尺離れて、死體の周圍には五六匹の野犬がたかつてゐたと、同氏の語るところによると鐵道轢死にしては胴と首が同一場所に接近してころがり、しかも首部はうつ伏してゐて少しも轢死と思はれる點はなかつた樣だと、なほ氏は新京驛に下車と同時に新京警備國に報告した

邪慾の局員に 說諭願

新京郵便局集配人住友敏夫(二八)＝假名＝は妻子のある身にかゝはらず最近情婦をかこひ、我が家をかへりみず甘い邪慾にふけつてゐるので自宅では妻ハル子(二六)さんが三人の子供をかゝへ衣食に窮し每日泣きくずれ隣家の者も見るに忍びず色々手を下したが住友は聞き入れないため二十二日遂に新京署に說諭方を願出た

けふから リーグ戰の 中繼放送

既報、新京放送局では二十二日午後零時五十分から午後三時十分まで神宮球場の六大學リーグ戰法政、明治兩大學第一回戰の實況中繼放送を行つた

その後における 忠靈塔寄附金
五月末まで本社で受託

その後において忠靈塔建設基金として本社に寄託されたものは市內三笠町の林あやさん一家で金十五圓林あや、金十五圓林憲顯、金二圓林敏子、金二圓林親章併せて三十四圓忠靈顯彰會のこの事業が發表せられて以來、本社を通じての寄附金累計はこれで三千六百七十圓十八錢となつたこの基金募集期限は五月末日となつてゐるから、帝國の生命線確保、滿洲國建國の人柱となつた幾多忠勇の戰病歿將士の英靈を慰め、且つ永遠に東洋鎭護の神として祀るこの企てに理解を有つ人々は進んで應分の醵金を捧げ事業の完成に力を致されんことを慫慂するものである

豚饅頭!! 支那料理は 三笠町 來々軒へ!!

筑後丸坐礁 カラバン沖で

(東京國通) 南洋航路の筑後丸(二四四四噸)はサイパン島のチヤランカノよりカラバンに廻航の途中カラバン沖で坐礁したが船體には異狀ないと

注目の的(六)
―大新京の景氣打診―

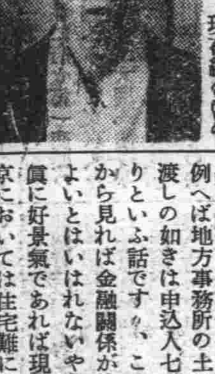
昭和八年四月 初めて出來た下宿屋
六ケ月間に下宿料不拂三千六百圓

下宿營業組合長 滿日館主人 畑瀨友策

新京において下宿屋の歷史はごく新しいのでありまず、昭和八年四月に初めて下宿屋と名のつくものが出來たものであつてそれ以前にはありませんでした、四月から引續いて順々に增加し同年の九月まで六ケ月間に二十三軒となつたのでありまず、そうしてこの九月

暴利取締令 發布と同時に下宿屋營業組合を組織したのでありまして非常に日が淺いのであります、組合成立以來は月五回戶每に業者の家々を巡回して設備、待遇その他萬般にわたり調査をして發展策なり、また擁護策に完全を期しています、現在では下宿屋を引つかける常習犯の氏名まで明瞭にわかつているのでありまして、他の如何なる組合よりも內容充實といふ點においてはひけをとらない充分なる確心をもつています、勿論私の巡廻に對しては無報酬であります、この組合組織の動機は昨年(八年)四月より九月の六ケ月間に業者の蒙つた被害額が

三千六百圓 で、六月間一軒に對して約二百八十圓余といふことになるのであります、この莫大なる被害の原因は業者間に連絡のなかつたことで、卽ち甲でふみ倒した者が乙の家へ行くといふ具合で次々に被害を受けるのでありまして、連絡の必要上ひいては自己擁護の上から組合結成に至つたのでありますが、幸に功を奏して以後は被害皆無となりました、現在組合內の下宿人員は五百人、內妻帶者は全体の一割、他は獨身の方のみであります、下宿代は平均四十三圓、最低二十三圓から最高八十五圓までゝあります、下宿室の窓から見た新京の景氣といふものは余り芳しからぬものであります、今日までは好景氣であるかの如く見えていますがそれは決して



眞實の景氣 だとはいへないやうです、窓の內から外を眺めてもそうであるが外から內を眺めては一層そのことが明瞭であります、例へば地方事務所の土地の賣渡しの如きは申込人七十人余りといふ話ですが、この數字から見れば金融關係が決してよいとはいはれないやうです眞に好景氣であれば現在の新京においては住宅難に遭遇している時ですから羽が生へて賣れてもいゝはずだと思ひます、さらに街上から下宿屋の窓の內をのぞいて見た時如何にルンペン階級が多いかといふことです、この不安定な景氣をも表面的な好景氣の聲に上氣するのか、渡滿の多くの人々は內地の氣分を忘れて放慢な生活をなし、

結局無一物 で下宿屋に飛び込んでくるのである、まして其後に受ける被被者は當然下宿屋となるのです吾々としてはこれ等の人達を氣の毒とは思ひますが、一々相手にしていたなら際限がなく、また營業もたち行かないわけでありますから斷るの他ありません、これ等ルンペン層が日々血まなこで職を探しているもの日每に增してゆく傾向にあり、それを入れる余地のない處を見れば決して好景氣であるといふことは出來ないやうです、當分はこうした落ち着かぬ現狀が續くものと思ひますが、然し國都建設事業も終る頃になれば人心も安定し、また景氣もよくなつてゆくものと思ひます

舞踏益金四百圓を 函館義捐金に
白系露人領事館を通じ本社へ

本月十五日當地舊ロシヤ人會並に新京會館主催の函館罹災民救恤舞踏會は日滿露人多數の參加者あり當地稀に見る盛況を見たが、其の成績は別項收支計算書の通りで、二十日發起人エポフ將軍、サヴランスキーの兩氏は總領事館に出頭利益金四百二十四圓九十六錢を罹災地に轉送方を依賴し同館より昨日、白露西亞人側發起人一同は舞踏會が豫想通り好成績を擧げ得たのは設備其他に盡力せられたる各位と當日參加せる各位の勢援の賜なりと深く感銘し本紙を通じ之等各位に表謝方申越した

橋口孃は腦膜炎

既報、新京特別市政公署橋口總務處長の令孃功子さんの死因を腦脊髓膜炎と記せしも腦膜炎の誤りにつき訂正します なほ告別式は豫定通り二十三日午後三時から大正寺で執り行はれるはず

世界新記錄
小池淸川河津 三選手

(大阪國通) 極東大會水上選手小池君は二百米平泳で二分卅九秒一、淸川君は百米背泳で一分七秒六、河津君は一分八秒と三世界新記錄を出した練習中とは言へ水泳日本の名を發揮してゐる

極東大會中繼に 三アナウンサー派遣

(東京國通) 放送局では極東大會の中繼放送をすることゝなり、廿九日神戶發の平洋丸で松內則三、杉本龜一、堀場平八郎の三アナウンサーを特派することに決定した

日本選手 廿九日出發

(東京國通) 極東大會準備委員會の發表に依ればオリムピック選手水上廿二名陸上四十八名、其他總勢百七十四名が決定され、愈よ二十九日平洋丸で神戶發五月七日マニラに乘り込む事となつた

極東出場野球チーム
東京俱樂部 メンバー決定

(東京國通) 去る十九日大日本体協に第十回極東大會野球代表としての出場を正式に回答した東京俱樂部野球チームは二十日夜交涉中の二、三名を含む出場選手を左の如く發表した

監督 川添、石井順一 マネージヤー 林辰雄 投手 中村峰雄、高橋外喜雄、宮武三郎 菊谷三郎 捕手 手塚壽惠雄、伊藤勝三、松本滑 一壘手 鷲尾二郎 二壘手 關口敬一郎 本鄕基幸 三壘手 角田隆良、久保寺(舊姓久保)春吉 遊擊手 林好雄(主將) 苅田久德 外野手 永井武雄、片田宣道、桝嘉一、松井久

日本選手 百七十四名
廿九日神戶發 マニラへ

(東京國通) 極東大會準備委員會は二十日正午會議を開き左の諸項を決定し午後三時散會大會出場役員選手一行は合計百七十四名で、平洋丸で二十九日午後三時神戶出帆五月七日マニラ着、歸路は五月二十一日マニラ發五月三十日神戶着の豫定である

春競馬第一日 成績

第一日四月二十一日(土曜日) 競馬成績

▲五競馬 一八〇〇米
一着 三分十一秒五分三　二着 大
配當(複) 一着 二圓四〇錢　二着 三圓八〇錢
(單) 四圓二〇錢
揺彩票一等 六四圓〇四錢　二等 一六圓〇〇錢　等外 六圓六〇錢

▲六競馬 二〇〇〇米
一着 三分十九秒　二着 大
配當(複) 一着 二圓七〇錢　二着 二圓七〇錢　三着 七五圓二〇錢
(單) 一八圓八〇錢
揺彩票一等 七五圓二〇錢　二等 一八圓八〇錢　等外 七圓八〇錢

▲七競馬 一八〇〇米
一着 三分八秒五分四　二着 大
配當(複) 一着 二圓八〇錢　二着 二圓一〇錢　三着 二圓一〇錢
(單) 三六圓四〇錢
揺彩票一等 五九圓四〇錢　二等 四五圓五〇錢　三等 二二圓七〇錢　等外 九圓四〇錢

▲八競馬 二〇〇〇米
一着 三分一四秒　二着 一　三着 二
配當(複) 一着 二圓九〇錢　二着 七圓一〇錢　三着 五圓六〇錢
(單) 一三圓三〇錢
揺彩票一等 七九圓二〇錢　二等 五一圓二〇錢　三等 二五圓六〇錢　等外 六圓四〇錢

▲九競馬 一八〇〇米
一着 三分二秒五分二　二着 一〇　三着 大
配當(複) 一着 二圓五〇錢　二着 三圓一〇錢
(單) 四圓一〇錢
揺彩票一等 九四圓七〇錢　二等 二三圓六〇錢　等外 九圓八〇錢

▲一〇馬競 二〇〇〇米
一着 三分二秒五分二
(單) 五圓二〇錢
揺彩票一等 七二圓五〇錢　等外 九圓〇〇錢

▲一一競馬 二〇〇〇米
一着 三分一六秒　二着 四
配當(複) 一着 四圓〇〇錢　二着 二圓五〇錢
(單) 一〇圓二〇錢
揺彩票一等 七四圓二〇錢　二等 一八圓五〇錢　等外 七圓七〇錢

▲一二競馬 二二〇〇米
一着 三分二九秒五分一　二着 一
配當(複) 一着 二圓四〇錢　二着 二圓二〇錢
(單) 六圓八〇錢
揺彩票一等 六六圓五〇錢　二等 一六圓六〇錢　等外 五圓二〇錢

▲一三競馬 一六〇〇米
一着 二分四二秒五分三　二着 大　三着 八
配當(複) 一着 三圓〇錢　二着 一圓[illegible]　三着 八圓六〇錢
(單) 一四圓一〇錢
揺彩票一等 九七圓二〇錢　二等 二七圓七〇錢　三等 一三圓八〇錢　等外 一三圓八〇錢

▲一四競馬 一六〇〇米
一着 二分五〇秒五分三　二着 四　三着 二
配當(複) 一着 一圓九〇錢　二着 三圓六〇錢　三着 三圓三〇錢
(單) 二圓三〇錢
揺彩票一等 六七圓二〇錢　二等 一九圓二〇錢　三等 九圓六〇錢　等外 二圓四〇錢

忠靈塔寄附者(二九)

金十五圓 市內三笠町 林あや △十五圓 同 林憲顯 △二圓 同 林敏子 △二圓 林親章 小計三十四圓 累計 三千六百七十圓十八錢

天氣と氣溫	
天氣	北の風曇後晴
氣溫	最高七度一 最低零下度一
日出	前四時四十四分
日入	後六時三十一分
月出	前十一時四十八分
月入	前一時四十四分
滿潮	前 後
干潮	前 後

家屋競賣廣告

一、當社所有家屋[illegible]
公主嶺敷島町一丁目 宅地一一五一平方米[illegible]本家、煉瓦造鐵板葺[illegible]
附屬倉庫、煉瓦造[illegible]
二、一號社宅 公主嶺椛町二丁目[illegible]宅地一〇九九平方米[illegible]
三、二號社宅 公主嶺椛町二丁目[illegible]
右當社所有家屋ヲ左記[illegible]競賣可致候
一、競賣期日 昭和九年[illegible]二十八日午前十時
一、競賣ノ場所 當社[illegible]
一、競賣方法 入札
一、開票 卽時
一、保證金 入札價額[illegible]以上ヲ入札ト共ニ納[illegible]
一、競落代金拂期日[illegible]
一、年四月三十日[illegible]
一、家屋受渡期日[illegible]
一、入札價額ニシテ何レモ當社ノ豫定價額ニ達セ[illegible]屋ハ卽日再入札ニ付[illegible]
昭和九年四月二十[illegible]
公主嶺敷島町二丁目 公主嶺取引所信[illegible]式會社 淸算人

解傭廣告

店員 飯淵房次郎(四三)

右之者今般都合ニ依リ解傭仕候間以後當勝又洋服店ト何等關係無之候間茲ニ及廣告候也

昭和九年四月廿二日

新京日本橋通六二 勝又洋服店

哈爾賓行 女給サン募集

一、旅費支給
一、二百圓以上賣上配當五分
一、自宅浴場設備有

希望者ハ來談セラレ度シ(四月二十三日午后一時迄)

哈爾賓第一ヲ誇ル新開店

新京三笠町 常盤旅館第六號

相生の鰻

出前 迅速

鰻の相生 かば燒 肝吸 丼 並

電2874 大和通五一

演藝

凄艶！酒井米子の 江戸ぶしお駒 期待される修羅八荒

酒井米子來る！映畫スターの實演隊來るの豫告は果然映畫ファン、好劇家の間に大なる期待となり、初日藝題中のこの修羅八荒の「江戸節お駒」は最も期待されてゐるもの全九場でその梗概は

寛文三年六月廿八日京都二條城に何者か忍び入り金藏を破つて黄金三千兩を奪つた、そしてその賊を逮捕するべく命をうけ淺香惠之介京師を旅立つ、ここに惠之介を仇とねらう三輪行藏瀧太郎の二人あり、又惠之介の身を陰に庇ふ謎の女江戸節お駒あり……黄金三千兩をめぐつて、陣場は!!太平ほ次郎太は!!三輪行藏は!!瀧太郎は!!惠之介は!!そして江戸節お駒は!!

配役は主なるものを擧ぐると（寫眞は江戸節お駒に扮した酒井米子）淺香惠之介に光岡龍三郎、三輪行藏に久米譲、目明しひさごや銀八に石原龍之介、酔ふた仲間に明美寛、三輪瀧太郎に都一男、陣場一味太兵衛に黒川正老、澤龜藏に石川陽晤、陣場一味次郎太に蘇油賣り千太に大佛光司郎、陣場彌十郎に葛木香一、外に覆面の侍町人大ぜい、妹お關に糸川靜江、茶屋女お常に坪内都志子、宿屋の女中お君に山田美津子、江戸節お駒に酒井米子

第一場 二條城龜藏仲間部屋 龜藏が大阪から惠之介に用事の爲め來た銀八から三輪邸にて三輪與一郎と喧嘩口論をした事を知る、銀八が歸つた後で、三味線持つた江戸節お駒、惠之介樣に會はしてと頼む、お駒は惠之介に人知れず戀しているのであつた、龜藏は旦那樣は今夜三輪樣の邸にいつたから歸りがおそいだらうと云ふ、お駒は會ひたい一心で折からの雷雨をついて二條の壕端に、歸りを待つ可く外に出る

第二場 二條城壕端、この雷雨の中で陣場彌十郎二條城内の御金藏破つて三萬兩黄金を取つて去る、三輪與一郎惠之介に對する怒り解けやらぬ爲め歸りを待つて襲撃仕樣と來かゝるが、彌十郎の一味鳥飼蓑次郎に斬り倒される、蓑次郎又惠之介の歸りに會ひ斬りつけるが反對に斬り倒され、與一郎の弟行藏瀧太郎は敵は惠之介なりと誤認して淺香邸を襲ふ、この始終を見て知る者はお駒只一人であつた

第三場 惠之介宅 歸りをまつ妹おらんそこに一足早く來た行藏兄弟は惠之介を出せど云ふが居ないので暫く待つと云ふて云る、一足後れて來た惠之介、行藏の口から與一郎の仇なりと聞き潔くこの誤つた仇討を承諾せんとする…時…二條城内からの命令、陣場一味を捕へよと…惠之介役目の大事を慮り、行藏の手から逃れて一路大阪へ

第四場 生玉神社境内 おらん兄を慕つて家出し、はからずも惠之介を敵とねらふ行藏兄弟に會ふ、行藏兄弟はおらんに惠之介の住居を教へろと迫る時覆面彌十郎へ惠之介を討たしてやると道案内する、その後をつける者誰ぞお駒であつた

第五場 旅宿ひさごや離屋敷 つれられて來た行藏兄弟とおらん陣場は部下に命じておらんを捕虜にして行藏兄弟に惠之介の部屋をおしへる、一足後れて來たお駒、陣場かつてお駒に戀心を抱いていたが久し振りに見て其の戀火一度にあふられる時…惠之介の部屋から白刃の音がきしり會つて來る

第六場 天王寺淺香隱家 前場に於て血路を破り危く此處に姿を隱してゐる惠之介に、陣馬を捕へんと劃策する中へ龜藏京都から訪れて來て妹おらんの家を報じる、一足後れてお駒又來り行藏の兄與一郎の仇は陣馬一味だと云はんとした時飛ひ來る小柄の投文見ればおらんを渡してやるから三休橋に來いとの陣馬からの命令、けつ然立つて吹雪の中を走る惠之介その後で陣馬の一味龜藏を倒してお駒に肉迫する

第七場 同家裏口 決鬪又決鬪お駒惠之介を追ふて三休橋にその血路を破つて

第八場 三休橋 走り來る惠之介妹おらん奪還の爲めに奮戰併し衆寡敵せず河中に落ちる、お駒この騷ぎの間におらんを長持から助け出して自分身代りに入るそうした事を知らぬ陣馬一行意氣揚々長持かついで茶臼山の隱れ家に……危くも河中より上りし惠之介そこにさまよえるおらんに銀八一行をつれて來いと云ひおいて

第九場 茶臼山隱れ家 陣場 陣場の後を彌十郎重なる銀八一味の壓迫と惠之介の肉迫に内心怖恐を感じて一時解散するとひつゝある處突然現れた惠之介と銀八一味遂に彌十郎はお駒が長持の中から射つた短銃で一命を落し、三萬兩の黄金は無事惠之介の手にされどこゝに又現れたのが行藏兄弟再ひ惠之介に斬りつけるが危まつてお駒を倒すお駒は一切の物語りを苦しみ乍ら語る行藏達始めて事情を知つて切腹せんとするが惠之介はそれを止めお駒をしつかと兩腕にだいてやるのだつたお駒微笑み乍ら死んで行く

浪曲名人會 樂燕と奈良千代 二十三日長春座で開演

關東浪界の總師東家樂燕が女流浪界の横綱吉田奈良千代以下花形を網羅した一行十四名を引連れて二十三日から二日間長春座で開演に決定した樂燕の新京訪問はこれで二回目昨春第一回來演の時はすばらしい盛況を呈したが今度も浪曲ファンに歡迎されるであらう

樂燕の氣品のなる藝風は頭山滿翁や故犬養毅、八代大將等が無二の愛好者であつたよつて察せらるゝその豪壯無比の浪曲は斯界の至寶と尊ばれる又初御目見得の吉田派女流の最高峰、吉田奈良千代は六歳の初舞台から天才兒と銘打たれ先代の小奈良や大和之丞の許にあつて訓育指導を得た彼女の藝は研讃に研讃を重ねて纖細と巧致の極を盡した藝風は清磋の舞台姿と共に人氣を一身に集むるの麗人で一行の花形に岡本雇之助、吉田奈良英、東家燕國等なんて近東稀に見る充實した一座であらう因に入場料特等二圓、一等一圓五十錢

二ツの魔に冒されて
白いベツトの上に
靜かに眠りの都に卷き込まれてる
可愛い優しの手を出してエンゼルの如
彼の母は
星二つ三つの夜の空に
我等の父に祈りを捧げてる
面上は何物も侵し難い神聖！
物凄い程神々しい顏！
靜かに眠れる愛しの吾が子の爲
樂しみも日頃の愉快さも飛ひ
唯一心に空を仰いで
ベツトの白布が搖れた
魔神の襲ひ！
優しい手が握られ
小さに呻吟く聲！
あゝ苦しいであらう
可愛い顏は苦しさに歪んで
苦しいだらう
魔神よ
母を見よ
彼女の神聖な顏を
可愛い子供を見よ
去れ！去れ！
汝の觸れる所
皆苦しみが去れ！
去れ！去れ！
一時も早く

文藝

六月の夜　錦波生

六月の夜が來たなら
愛しのメリーよ
わたしは無風の砂山に立ち
星無き空に灯を掲げやう
その時そなたは
ダリヤの花持つて
美しの裝ひして
そつとわたしの
影に入り給へ

一竪

何時も莞爾微笑んでる
可愛い瞳を輝かしながら
パッチリと開いた二重瞼！
白い齒を二本のぞかせて
でも春の日の今宵
荒ひ狂ふ風をよそに

ラジオ欄

二十三日（月曜日）新京

時刻	番組
午前一一時四〇分	ニュース（日滿兩語）
一一時五九分	時報
午後〇時 五分	經濟市況（奉天ヨリ日滿兩語）
同 一時 〇分	演藝（滿語）
同 三時二〇分	ニュース（日滿兩語）
同 三時三〇分	經濟市況（奉天ヨリ日滿兩語）
同 四時三〇分	ニュース（滿語）
同 四時四〇分	ニュース（鮮語）
同 四時五〇分	ニュース（英語）
同 五時 〇分	子供ノ時間
同 五時三〇分	時事解説（奉天ヨリ）（滿語）
同 五時五五分	氣象豫報 プログラム豫告（滿語）
同 六時 〇分	ニュース（東京ヨリ）
同 六時二〇分	語學講座（滿語）講師 高宮盛逸
同 六時四〇分	同 植松金枝
同 七時 〇分	長唄（東京ヨリ）（日語）
同 七時二五分	物眞似（東京ヨリ）
同 七時五〇分	ラジオドラマ（東京ヨリ）
同 八時三〇分	時報（東京ヨリ）
同 八時四五分	ニュース 氣象豫報、プログラム豫告（日語）
同 九時 〇分	演藝（滿語）
	引續ニュース（滿語）

腰機帶 唄 松永和壽美 / 同 松永和歌藤 / 同 松永和志津 / 三味線 杵屋五三次 / 同 杵屋五三米 / 上調子 杵屋五三吉 / 笛 梅屋竹次 / 小鼓 梅屋金太郎

太鼓 梅屋勝太郎 / 太鼓 梅屋勝左 / 同 梅屋正兵衛

吹き寄せ 江戸屋猫八 雌子 連中

ラヂオの御用は 東京無線 電四九二〇番へ

新刊紹介

▽經濟滿日（四月號）主要記事、期待される滿州景氣、滿州特産界現狀、對滿投資所見、鏡泊湖と移民問題、全滿地方經濟、ボタを原料に陶器製作、滿州棉花、滿鐵本部手當改正、支那資本團の滿州會社要項、その他、月一回十五日發行、一部金二十錢、發行所大連滿州日報社

△自動車界（四月號）ソ聯邦自動車工業の現狀、カブレター の常識、自動車事故裁判例、小中學生自動車運轉の友、春とドライブ、久遠の迅速、業界雜錄、文藝欄等一部金三十錢發行所東京芝川口町二七自動車界社

▽奉天商工月報（四月號）主要記事動く奉天の經、濟事情奉天市場にかける皮事情本年味噌釀造高、稅關の不評價その他一部金五十錢、奉天商工會議所

新刊雜誌○現代五月號

◇現代五月號は別册弘法大師傳を附錄とした特別號で六十錢、平常より十錢上りだが、内容は頗る擴大充實されてゐる

◇弘法大師傳の筆者は文學博士中村孝也氏、一千百年大遠忌を紀念するには好箇の文献だ、我國の文化發祥時代、を飾る大偉人の眞の姿を國民の腦裡に強く印象せしめんとする企てはヂャーナリズムの限界を越えて大に意義あるを思はせる

◇本誌へ返つてまづ大物中の大物を求めるなら景氣研究所長の勝田貞次氏と兜町の金子調査部の高橋朝治氏が擔當で現株界の狀況を審かにし且つ現今に於ける利殖法の急所を公開した大特輯並ひに陸海軍の軍政通と史家、思想家、國際事情通を蒐めた『戰爭を語る座談會』が最も異彩を放つてゐる

▲其他では季節柄大東京案内の特輯も結構だし賀川豐彦氏のフキリッピン紀行も南洋に多大の關心を有たれつゝある昨今は殊に興味深い

▲『内田信也氏に非常時海軍の問題を聽く』『日本航空輸送の現狀非常時日本の燃料問題』志士沖禎介氏の嚴父の『亡き愛兒禎介氏追憶記』『永戸後雄氏の『歐洲の花形政治家ドルフス宰相の全貌』友松圓諦氏に人生問題を聽く』等々各種各樣の意義をもつた好讀物見應へのある記事は凡そ枚擧に遑ない程だ

▲連載の軍事探偵秘錄（山根卓三氏）は異色なる興味を感じさせつゝ本號で完結してゐるがその迫力には全く頭の下るを覺える

新大花朝顔及夕顔種子配布

信濃國下高井郡延德村宮島銀兵衛氏は今回二萬人を限り送料袋代共郵劵十八錢を送れば斯界に名高き正七寸咲變り咲等數千株の吹寒せ混合百余種入一袋に大寫眞入園藝月報一册宛添へ急送し又盆栽用短蔓一圓尙佛國産大白夕顔紅紫夕顔等二種類一組廿錢和洋草花種子十種類二十錢二十種類四十錢に何處迄も送り屆ける由

鮮魚小賣相場

品名	相場	品名	相場
活鯛	一七〇	氷鯛	七八
チヌ鯛	二六〇	連子鯛	二六
甘鯛	四〇〇	小鯛	七〇
鮪	九〇	ニベ	二九
ヒラス	四〇〇	サハラ	四七
スヽキ	二〇〇	サバ	一〇
カレイ	六	ヒラメ	一六
ボラ	一六	コノシロ	二三
キス	二〇	赤貝	五
オコゼ	一三	メバル	七
ムツ	一三	サヨリ	三六
グチ	一六	金頭	八
クヂラ	三〇	タコ	一六
イヒタコ	一〇	甲イカ	三〇
イセエビ	一二〇	車エビ	三一
カニ	二九	アナゴ	一七
シラオ	一〇	ナマコ	一〇
アワビ	七五	カキ	二〇
ハマグリ	四	シジミ	八
カマボコ	四五	タラ	八
タナゴ	一六	ホタテ	八
タニシ	三二	シタ	二九

四月廿三日 舊三月十日 月曜 甲子 赤口 成 畢宿

●一白の人 崩れても屈せず積木細工の積上りを樂しめ 申と丑と寅が吉
●二黒の人 短慮を起して一瞬に功を失ふ日普請移轉凶 辛と癸と艮が吉
●三碧の人 大器晩成の覺悟を以て堅實に進まるゝが吉 乙と坤と申が吉
●四綠の人 平穩に過ぎて倦怠を感ず緊張せざる可らず 丁と坤と申か吉
●五黄の人 内心期する所あるも實行に躊躇し不安の日 辛と壬と丑が吉
●六白の人 重荷は一度に運ばんとせず二度三度繰返せ 甲と丙と辛が吉
●七赤の人 内輪に紛擾事の起らんとする日移轉開業凶 丙と庚と寅が吉
●八白の人 技量優れた飛行士も機械の故障に難を蒙る 丁と庚と辛が吉
●九紫の人 暗夜に提灯を得たる如し前途樂々と進まん 巽と戌と壬が吉

日日案内 掲載料
◇三行一回金五十錢 ◇被雇度一回金三十錢 ◇五十行一回金八十錢 ◇十掲載日指定姓名住所一圓五十錢 掲載料前金十錢增

讓買 讓店 現在盛業中の下宿屋讓度お世話は滿日舘で 電話三八〇二

被雇度 被雇 度、和服仕立物專門呉服商又は料理屋住込希望當方裁縫女學校卒業後仕立物に經驗あり 姓名在社

募集 店員 入用十五歳より廿五歳迄本人來談要保證人至急 公主嶺花園町 和洋雜貨商小久保商行

婦人 管理人募集公共寮ノ女管理人三十五歳ヨリ四十五歳迄（住ミ込ミ）若干募集ス給料面談、面談毎日午後七時新京朝日通り日本領事舘西側丸昌食料品店 電話四七七番

土地家屋 土地・家屋 住宅・電話 賣買並に仲介 貸家貸間親切に御紹介致ます 電話低利にて金融致します 新京東一條通五四金光教會前 萬成社 電話四八八四番

貸家貸室の御紹介 電話賣買 電話にて極秘〳〵金融致します 新京土地建物會社 朝日通十七 電話長四八二八番

人事 産婆 姙婦御手ぜまの方は御希望に依り拙宅に御預り致します 梅ヶ枝町四丁目 電話三三四一番（呼出）鈴鹿サク

産婆 鈴木ユリ△△△△ 滿鐵病院前福山會 自宅花園町二丁目廿五△△△ 電話三一二一番

金融 求資本家 確實有利の事業あり資金十萬圓内外を要す詳細は 新京入船町四丁目七 日昌公司へ

藥品 あんま 男女員多數御一報次第參上 日本橋通中家内一陽堂 電話三八五二番

營業 洋帳簿 各種製本專門 三笠町三ノ九 三省堂製本所 電話三三三四番

印刷 新京永樂町三丁目廿六 三友社 電三四三八番

假事務所 滿電ハズ係内 宣傳廣告には効果絶大なる滿電バス内の廣告欄を御利用下さい!! 滿電公認 新京バス廣告社 自宅曙町二丁目廿七 電話三七〇二番

滿州國政府公報 雜誌販賣開始 大阪東京朝日新聞 朝日社 杉尾新聞舖 東二條通廿一 電三三三四番

ラヂオの御用は 東京無線 電四九二〇番へ

廣告の御用は電三三〇〇番へ

映畫

十八日より五日間 清炎の都市 毎日晝夜二回公開 爽麗豪華に淺き春の旋律を奏でる薄紫の戀のお話!!新鮮な感觸と甘美とジャヅ的昂奮の氾濫だ…… 蒲田オールサウンド版 北村小松原作、島津保次郎監督、大阪毎日、東京日日新聞連載 川崎弘子 大日方傳 逢初夢子 主演

鴛鴦街道 新鋭秋山耕作監督大作品 松竹下加茂時代劇特作 オール讀物所載「浪人太平記」より 若き天才エンジニアと美貌のダンサーそして國際スパイと妖艶なダンサー大都會のネオンの交錯する夜空に火花する情痴の炎…… 阪東好太郎 飯塚敏子主演 胸のすく樣な颯爽とした坂東好太郎完璧の演技を見よ!!

長春座 二十日より四日間 パラマウント『市街』 リーガームス撮影 ルーベン、マウーリアン監督 ゲリークーパー シルバーシドニー 主演

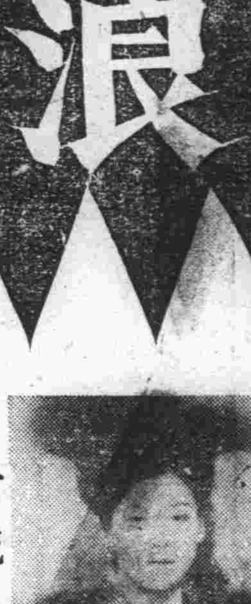
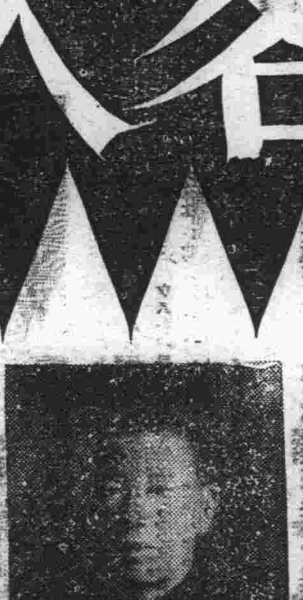
『鐵の街』 新興キネマ合同合作 高田プロ 高田稔、森靜子、中野實富作 月田一郎 阿部豐監督 桂珠子 三木茂撮影 瀧花久子 共演 暗黒に落ちて、仲間から恐れられたキッドが愛人の熱情に甦生の道をたどる世界的名畫 愛する弟故にそして可憐な女故に惡の前に憤然起ちて血を流す若者の姿高田、森の初顔合せになる青春歡歌篇

『伊達事變』 白井喬二原作 上島量脚色 渡邊新太郎監督 鷲田誠撮影 鈴木澄子 嵐璃德 小金井勝 大野三郎 阪東扇太郎 東良之助 五十鈴桂子 荒木忍 市川正二郎 泉清子 松本田三郎 衣笠淳子 仙臺伊達家騷動を新解剖せる大衆的興味横溢の名傑作で、絶讃の名書鏡山觀艷錄を遙に凌駕する絶對的豪華版

新京キネマ 電話二〇六八番

食道舘 千鳥 電二七八七

疊 山村疊店

浪曲名人會

女流の最高峰 吉田奈良千代
奈良千代、初日演題 佐倉義民傳 二日目演題 太刀山と清香 吉原百人斬

稀世の名浪曲 東家樂燕
樂燕、初日演題 想ひ起す乃木將軍 赤垣名殘の禁酒 二日目演題 村上喜劍
愈々ファン待望裡に堂々來演!! □前賣券を御利用下さい□
二十三日夜 二十四日晝 二回公演
入場料 特等二圓 一等一圓五十錢
長春座

つゆを なつを 鰻料理 御入浴の準備ある 御料理 竹廼家 梅ヶ枝町二丁目十ノ二 電話三七三四番

既製 春の御洋服は 背廣三揃服 詰衿服 上下 スプリングオーバ ハリーコート 替ズボン いろ〳〵 當店特價品
新京祝町三ノ三（闔樓前） 三浦屋質店内

臨時出張 春の呉服雜貨 於太子堂 自四月二十三日至四月二十七日（午前九時より午后九時まで）
流行品大賣出し 冬物大見切賣 つくしデー 正札の一半額 三割引 二割引
三井呉服店

胃腸 榮養

錠劑

わかもと

專賣特許

母と子の健康を護るもの

肥立ちの悪い兒

肥立ちの悪い兒といふのは、痩せて顔色が悪く、皮膚に艶のない、ぐつ／＼云つて泣く聲に元氣のない赤ちやんを指すので、これは榮養の缺陷、すなはち姙娠中母體の榮養が不十分だつたり、生れて後お乳が足りなかつたり、またお乳の成分に缺陷があつたりする場合にさうなるのです。

殊に燐、鐵、カルシウムといつた様な無機榮養素の成分が不足して、

骨格や其他の組織が脆弱な赤ちやんは、發育が遅れ抵抗力が弱く、長ずるに從つて所謂腺病質の子供となる事が多いのですから、世の母たる者は愛兒の一生の健康の爲にも、十分の榮養を攝取する様つとめなくてはなりません。

「錠劑わかもと」は小兒の骨格を造る無機榮養素、及び體組織を造る有機榮養素を、いづれも偏頗なく含有してゐて、綜合榮養劑の名を以て呼ばれる位ですが、殊に赤ちやんの

成長發育を促すリヂン、ヒスチヂン、或はヴイタミンB等の成分に富み、其上弱い赤ちやんの體組織を強め、その機能を活潑にする種々の活性酵素をも含有してゐるので、直接肥立ちの悪い兒に與へれば、その體質を改造し榮養障碍を恢復する許りでなく、姙娠中の母體が服用すれば、胎兒に十分の榮養を供給する事が出來、哺乳中の母體が服用すれば、お乳の成分を改善し、その缺陷を補つて、間接に愛兒を丈夫にする事が出來るのです。

お腹を毀し易い兒

よくお腹を毀して、綠便、顆粒便、粘液便など出す赤ちやんがありますが、これは放つて置くと忽ち全身の障碍となり、危險な中毒症狀を起し易いもので、年々十二萬人からある我國の乳兒死亡者の大半は、この消化不良の赤ちやんなのです。

赤ちやんがお腹を毀すのは、大抵二つの原因から來ますが、一つは單純なお乳の飲み過ぎから來るので、これは飲み過ぎを注意すれば、それ程心配はありません。

第二は榮養の缺陷から來るので、これも先天的と後天的の二つに別ける事が出來ます。先天的には姙娠中の母體の榮養が不足した爲に、生れた赤ちやんの消化管の機能が弱くなるものであり、後天的にはお乳が悪いからで、牛乳やミルク育ての所謂人工榮養兒が多いのです。

こんな子供に「錠劑わかもと」を四五錠宛碎いて一日三回、ぬるま湯か又は牛乳やミルク等に混ぜ與へますと

活性酵素が有つ「細胞原形質賦活作用」により、先天的に弱い胃腸も段々と丈夫になると同時に「錠劑わかもと」中に含む多くの榮養素の綜合作用によつて、お乳の成分は補正され不足の榮養分が補はれるから、人工榮養兒も哺育料の缺陷から救はれるわけです。一方ヘーフェ菌の特質とする整腸、防腐、殺菌等の作用により、綠便、粘液便等の下痢便も、速かに健康な軟便に復することが出來ます。

お乳の足りない兒

お乳が足りないといふのは、乳腺に障害があるか、または母體の榮養が足りなくて、お乳が出來ないかどちらかです。昔からお乳の出ない時にマッサージをすればよいとか、濕布法がよいとかいふのは、乳腺に刺戟を與へて、その機能を促す爲であり、鯉こくがいゝといふのは、母體の榮養を旺んにしてお乳の原料を增す爲であります。

併し今日科學的に研究された結果、乳腺の障碍も多くは榮養障害から來てをり、從つてマッサージや濕布法などで

外部からの刺戟を與へる丈では不十分だといふ事がわかりました。殊に米國の小兒科専門大家メーシー博士、ケネジー博士等の說によれば乳汁の不足は主としてヴイタミンBの不足によるものであり、たとひお乳が出てもヴイタミンBが少いと、赤ちやんの成長發育が悪く、乳兒脚氣などを起し易いといふのです。「錠劑わかもと」の主成分たる

純正ヘーフェ菌は、優秀なヴイタミンBの給原として知られてをり、その他脂肪、蛋白、アミノ酸、グリコーゲン、燐、鐵、カルシウム等の各種に亘る、豐富なる榮養素の綜合劑でありますから、母體の榮養を補つて、お乳の出をよくする事は、鯉こくなどの比ではありません。殊に榮養素の他にも強力な酵素やホルモン等にも富んでゐるので、直接乳腺の機能を活潑にする効果もあります。

姙娠中の榮養補給

姙娠は病氣ではないが、胎兒の爲に母體の負擔が增し、その結果種々の變化、障碍が現れ易いもので、姙婦の苦しい時だといはれます。殊に初めの三ケ月と終りの三ケ月とが、

初期には所謂「つわり」といふ現象が起り胸が悪く吐氣を催し、食慾が無くなるので身體が衰弱し易く、平素丈夫でない人などこの期間が持ちこたへられなくて、姙娠中絶をしなければならぬ様な事もあります。「錠劑わかもと」はそんな場合、

強力な活性酵素によつて、胃腸の機能を活潑にし、インスリン様ホルモンがあつて食慾減退を防ぎ、脂肪、蛋白、アミノ酸、グリコーゲン、燐、カルシウム、ヴイタミン等があつて衰弱を防止し、やがて「つわり」を輕減する事が出來ます。姙娠の終りになると、

子宮がお腹で膨れて胃腸を壓迫し、神經、血管まで壓迫するので血のめぐりも悪くなり、浮腫が起つて腎臓炎や脚氣、便通時には命取りの子癇などを起す事さへあります。

「錠劑わかもと」には、尿の通しをよくし腎臓炎を防止するプリン體を新生する優秀な蛋白質や、脚氣を豫防するヴイタミンBや、胃腸を整へ、消化、吸收、便通作用を促す酵素等を豐富に備へて、姙娠末期に起り易い榮養障碍から救ひ、安産に必要な姙婦の抵抗力を增進するのに大變適した藥として臨床家からも推奨されて居ります。

産後の衰弱恢復

お産をすると歯が悪くなるといふのは、赤ちやんの骨を造るに必要な多量のカルシウムを、母體の歯や骨格から取る爲で、姙産婦が脚氣に罹り易いのは、矢張り胎兒や乳兒が成長發育に必要なヴイタミンBを、母體から奪ひ取る爲であります。

こんな風にすべて赤ちやんの榮養は、母體から供給してやらなければならないのですから、お腹に子供がゐたり、お乳を飲む子供がゐたりすると、

二人分の榮養を消費するわけで、よほど丈夫な人でも衰弱するのは當然です。またお産の際には、安産をしてもかなり多くの血液を失ふのですから、難産でもしたら、産後肥立の貧血に惱まされる様な事も少くありません。

然るに「錠劑わかもと」には、屢々述べました様に、多種多様の榮養素を含んでゐて、その成分が一方に偏せず、貴重なヴイタミンやカルシウムに富んでゐるので、

産後の衰弱恢復には何よりですが、殊に造血に必要なコロイド鐵や、銅、ヴイタミンEも少くないので他の榮養素の力と相俟つて、單純な貧血などでは、治り難い貧血にもよく其の効果が現れます。なほ「錠劑わかもと」中にはグルタチオンといふ優秀なアミノ酸や、ヴイタミンA、D等もあつて、抵抗力も強めるので、産後に罹り易い結核を豫防する効果もあります。

藥價低廉

三百錠入 一圓六十錢

三百錠は十歳前後の兒童には約四十日量、五歳前後には五十日量、三歳前後は六十日量に當る。

發賣元・東京市芝公園

榮養と育兒の會

電話芝(代表)一一七五番　振替口座東京一七〇〇番

海外代理店

三井物産株式會社